

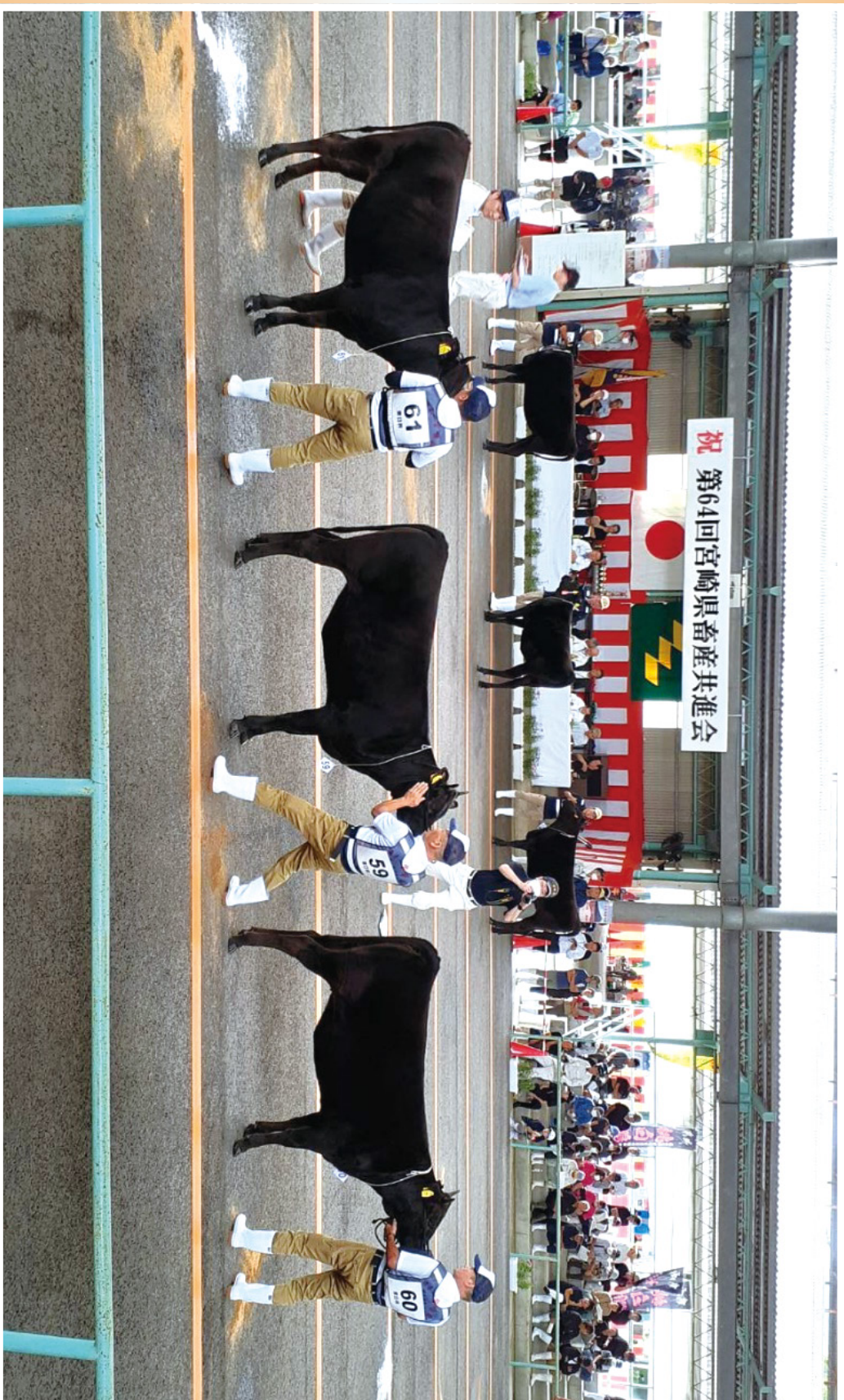
議会だより

令和5年11月

もろつか

令和5年
第179号

編集 議会広報編集特別委員会
発行 諸塚村議会



■宮崎県畜産共進会

もくじ

令和5年度一般会計補正予算…	2
令和4年度決算認定・	
総括意見・個別意見…	3
一般質問…	4
5	
総括質疑…	6
所管事務調査報告…	7
議会活動報告…	8

〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683 ☎(0982)65-1130

第3回定例議会 令和5年度一般会計補正予算

補正額:17億1200万円

合計 61億8800万円

◆一般会計の主な補正内容◆

「企 画」	・池の窪ツツジ園改修	270 万円
	・商工業活性化支援事業	345 万円
「産 業」	・釜の前茶工場施設整備事業	1380 万円
「建設課」	・災害関連急傾斜地崩壊対策事業（万ヶ原、家代地区）.....	248 万円
	・道路新設改良事業（生コン高騰による原材料費 単独）.....	390 万円
	・道路維持事業（柳原～吐の川線委託料）	447 万円
	・道路維持事業（村道補修工事請負費 単独）	2000 万円
	・林業施設災害復旧事業（古原線委託料 単独）	1300 万円
	・林業施設災害復旧事業（古原線工事請負費 単独）.....	400 万円
	・林業施設災害復旧事業（小原井～財木線 補助）	5000 万円
	・土木施設災害復旧事業（委託料 12ヶ所 単独）.....	3800 万円
	・土木施設災害復旧事業（工事請負費 単独）.....	950 万円
	・土木施設災害復旧事業（工事請負費 補助）.....	15 億円

特 別 会 計 補 正 予 算			
	補正前	補正額	補正後
国 民 健 康 保 険	3億1190万円	2950万円	3億4140万円
後 期 高 齢 者 医 療	3300万円	310万円	3610万円
介 護 保 険 事 業	2億6371万円	3991万円	3億 363万円
簡 易 水 道 事 業	3461万円	589万円	4051万円
公 共 下 水 道 事 業	5億2320万円	△8283万円	4億4037万円
診 療 所 事 業	3億9700万円	2800万円	4億2500万円
発 電 事 業	1373万円	△76万円	1296万円

特別会計の主な補正内容は、繰越金の確定によるものです。

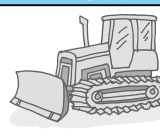
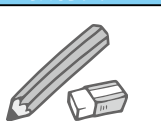
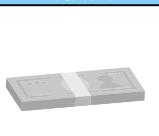
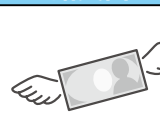
◆その他の議案◆

「建設課」	・工事請負契約の締結について（2件） 議会の議決に付すべき契約（予定価格 5,000 万円以上の工事の請負）
	・猿渡奥畑線 道路災害復旧工事 2億2000万円 太伯建設
	・宮の元只石線 道路災害復旧工事 8712万円 興洋開発

令和4年度 一般会計決算認定

令和5年度 第3回定例会

歳入額 42億3992万円 歳出額 39億7525万円

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費
 4541万円	 7億1922万円	 4億1974万円	 1億6664万円	 6億3054万円	 8082万円
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金
 3億4708万円	 5503万円	 2億8504万円	 7億542万円	 3億4232万円	 1億7792万円

■特別会計

会計名	歳出決算額		歳出決算額
国民健康保険	2億8337万円	後期高齢者医療	2862万円
介護保険事業	2億5863万円	簡易水道事業	2601万円
公共下水道事業	6424万円	診療所事業	3億6140万円
発電事業	678万円	特別会計合計	10億2905万円

総括意見

新型コロナウイルス感染症は、令和4年度も依然として世界的に猛威を振るい、村としても様々な面に対応に苦慮している中、更に追い打ちをかけるように台風14号が襲来して、本村に大きな被害をもたらした。またロシアによるウクライナ侵攻などにより、世界経済は現在も混乱が続いており、今後の様相は全く不透明である。

このことが起因となり、国内経済では、原油価格の上昇や食料品などの物価の高騰など、村民の生活にも大きな影響が続いている。このような極めて厳しい中に執行された、令和4年度の一般会計の決算は、歳入42億3,992万8千円、歳出39億7,525万4千円であり、前年と比較すると、歳入で4億5,089万7千円、11.9%の増額、歳出で3億2,249万5千円、8.8%増額の決算となっている。また、一般会計及び7つの特別会計を合わせた歳出決算額は、50億431万1千円で、前年度決算額の8.6%の増額となっている。

歳入で比率が最も大きいのは、地方交付税で、前年度比16.6%増の20億33万7千円となっており、歳入全体の47.2%を占めている。歳出では災害復旧費が最も多く、7億542万6千円で、全体の17.7%となっている。

このような中、台風14号災害が国の激甚災害に指定されたことは、今後の復旧において励みとなる。特定地域づくり事業協同組合「もろつかわーく」が設立されたことも、今後の地域の人出不足の解消の一端に繋がると期待できる。また、3年ぶりの村民文化祭でステージイベントが開催され、久しぶりに賑わいが復活した。

財政構造は、地方交付税の状況によって大きく影響される脆弱な財政基盤で、今後とも厳しい財政運営が続くであろうと思われる。今後の財政運営については、現状を十分認識し、国県の動向を注視しつつ、住民福祉の向上に留意しながら、財政の健全化に取り組んで頂くことを期待して、総括意見とする。

個別意見

1. 台風災害の早期復旧
2. 人口減少対策
3. 物価高騰における経済対策
4. 通信環境の整備促進

一般質問

今回4名の議員が質問をしました。

①村内各小・中学校の再編構想について



甲斐 弘昭 議員

問 甲斐 弘昭 議員
村内の人口減少は依然として続いており、荒谷小児童も六年後には、二名となる見込みである。このようなことから、小学校統廃合も含め、村内各小・中学校の再編について、教育委員会として、将来的にどのような構想を持っているのか。また、小・中一貫校の設立についても併せて伺いたい。

竹内 教育長

答 荒谷小学校については、令和三年度に学校のあり方意見交換会を実施した。小・中一貫校の設立については、統廃合の検討が優先であるが、場所の問題等も

含めて、総合的に検討する必要がある。さらに、閉校後の跡地の活用等についての課題も出てくるので、慎重に協議検討を進めていくことが重要と考えている。



竹内 教育長

甲斐 弘昭 議員

問 統廃合を含めた学校再編については、準備期間もあるので、地域住民の意見・要望を取り入れて、できれば早めに検討を頂きたい。また、教育長として、今後どのような特色ある学校づくりを目指していきたいのか、今の思いを伺いたい。

竹内 教育長

答 現在、一人一人がタブレットを持って授業を進めている。今後は、ICT

を使った授業、プログラミングをうまく利用した授業を今後展開していく必要があると考えている。

甲斐 弘昭 議員

七ツ山小学校でもいろいろと議論があったが、子供達を少しでも多い人数の中で、切磋琢磨させることが一番ではないか。地域のエゴであってはならないという話も聞いた。準備期間もある中で、早めに検討委員会を開いて頂きたい。

①産業振興補助金が平等になされているか。



尾形 浩一 議員

尾形 浩一 議員

花卉、林業、畜産、野菜、多くの産業を補助金で支えているが、スイートピー裁

培には、冬場の暖房用重油代の補助金はないと聞いた。現状について伺う。

藤崎 村長

答 産業振興に係る各種補助金については、生産者の意見、視点に立った補助事業を創設して、一律の基準で交付している。スイートピー以外にもランキンユラスやキンカンも暖房を使用しているが、現在暖房の支援は行っていない。農業振興補助金については、一律の基準を設けて交付しており、今後とも効果が上がるよう適正な執行に努めていきたい。

②池の窪で開催されたコンサートの今後の開催予定について

尾形 浩一 議員

問 五月に池の窪でピアノコンサートが開催されたが、本村での来年の開催について問われ、あれだけの効果があり、都市部との繋がりを考えると、五〇〇人規模で開催したらとの提案

があったが、村長の考えを伺う。

藤崎 村長

答 今後のイベント開催については、費用対効果を踏まえ、関係人口の構築や観光事業推進などの効果を見極め、村民や関係機関の意見を参考に総合的に判断する。

尾形 浩一 議員

問 経費等考えれば、三年に一度とかの開催を行うような考えはないのか。坂本龍一氏との関係は大事にしていくべき大きな財産と思う。村民が少しでも元気になる村にして頂きたい。

藤崎 村長

答 まず、あのステージでコンサートができるというヒントを頂いた。坂本龍一氏との関係も考慮して考えていきたい。



①台風後の産業振興対策について



甲斐 秀樹 議員

問 甲斐秀樹議員
台風後の産業振興対策についてどのような考えか伺う。

藤崎村長

答 令和三年四月に森林環境譲与税を活用し、森林作業道災害復旧補助事業を創設し、九六%の補助率で復旧事業を行っている。また、補助金の上限額を二〇〇万円から五〇〇万円まで拡充した。

②固定資産税について

甲斐秀樹議員

問 現在の村外の固定資産税納税者の割合は、どの位いるのか。

藤崎村長

答 村外在住の納税者は法人を除き、土地について

は、約二七%の二一一名、家屋については、約二一%の一三六名である。

甲斐秀樹議員

問 今後、損害納税者の割合が増えれば収税業務の負担が増え、村外の土地買取り業者が、好条件を付けてきたら、その土地を売却をするのではと危惧をしている。林地村外移動防止要綱の大切さを認識し、必要であれば今の時代に合わせた条例の制定も必要ではないか伺う。

藤崎村長

答 林地村外移動防止要綱を一つの礎として、しっかりと引き継いでいく。条例化については、今後研究させて頂きたい。

①土捨て場の確保について



岩本 國和 議員

岩本議員

昨年、の台風十四号と

今年の台風で大きな被害をもたらした。村は、土砂を運び出すための十分な捨土場所を確保しているのか伺う。

藤崎村長

答 国道五〇三号及び災害に係る河川の堆積土砂の撤去による捨土の撤去については、ダムの管理者である九電が行うが、本村には、一か所に大量の土砂を処理できる場所がなく、ダム管理者も苦慮している。飯干バイパスの残土処理も、場所の確保が必要となる。候補地の検討は行っているが、盛土規制法により、場所の選定が厳しくなることが予想される。工事の進捗に支障の出ないよう努力していきたい。

岩本議員

問 宮の元ダムは、山腹崩壊や河川の氾濫で冠水して、国道五〇三号が通行止めになり、宮の元三戸には濁流が迫り、災害の恐れがあった。また、ダムの下流の井戸・大白尾にも大量の土砂が堆積しており、災害が起こる可能性がある。村民が安心して暮らすためにも、村として土捨て場の確保は急務であるが。

藤崎村長

答 宮の元ダムの上流と下流側の井戸・大白尾の状況も現状を見て、把握している。土捨て場の確保は大きな課題である。何か所か候補地もあるが、地権者と相談をしながら、対策に遅れが出ないように取り組んでいきたい。

岩本議員

問 例えば、治山ダムのような、長期にわたって捨てられるような、大規模な土捨て場所の確保が国・県にお願いしてできないのか。

藤崎村長

答 熱海の大規模な土石流災害を教訓に盛土規制法が施行された。本村は、地形的に大量に土砂を捨てる場所の確保はむずかしい。村内の情報をもらいながら、分散してでも捨土ができるような場所を確保したい。



歳入歳出決算認定に対する質疑応答(総括質疑)

そこが聞きたい!!

(質疑) 黒木議員

①池の窪周辺の整備について

②家庭菜園には、ワイヤーメッシュの補助が出ないと聞いたが。

(答弁) 村長

①次年度の取り組みとして、池の窪グリーンパークの魅力づくりについて、話し合いをしている。具体的な内容については、今後詰めていく。

②ワイヤーメッシュの設置要件は、獣害の予防である。家庭菜園もOKである。

(質疑) 田原議員

①池の窪グリーンパーク内外の改修の詳細を。

(答弁) 企画課長

①アスレチック施設及び看板の改修、えくぼ亭の一階部分の改修をしている。

また、溪流の里の男女トイレの洋式化、シャワー施設の更新、キャンプ区画有料の電源サイトを三箇所設置した。

(質疑) 田原議員

①えくぼ亭のトイレも男女兼用になっている。

池の窪は、本村の数少ない観光地であるので、周辺を含め、いち早い取り組みをお願いする。

(答弁) 村長

①池の窪グリーンパークは、非常に魅力的な所とされている。今後魅力づくりに取り組んでいきたい。

(質疑) 田原議員

②幼稚園、保育所の先生方の制服としてエプロンの配布はできないか。

(答弁) 教育長

②基本的に制服でなく、私服だと思うので、自分たちで購入していくのが原則ではないかと考える。

(答弁) 住民福祉課長

②互助会の方で、何年かに一遍、事務服を作る時に保育士には、エプロン何枚かを一度に購入するという対応ならできると思う。

田原議員

②診療所では、毎年白衣が支給されている。格差のない取り組みをお願いする。

(質疑) 尾形議員

①上下水道の災害復旧と今後の災害に対する予防的な措置は。

②太陽光発電ソーラーパネルは、寿命が二十数年と聞いている。備えがあるものか。

(答弁) 建設課長

①昨年、今年と上水道は、台風で水源地に土砂が堆積し断水した。今後は、かご枠とかコンクリート壁で土砂を止めるとか、

そのような部分について検討していく。下水道については、現在、電気工事を発注している。今回、全ての施設に防水壁を設ける。また、屋上の高い部分に電気系統を移設する。

(答弁) 産業課長

②今のところ、パネル自体に支障は出ていないが、経年劣化等出てくると思われるので。今年度から予算化をしている公営企業会計に移行することも

あるので、適切な改修時期等を見極めて、予算も確保していきたい。

(質疑) 山本議員

①生コン舗装は、予算に比べ決算が少ない。生コン舗装は、メーター当たりの単価が安いと思うが、予算枠がある今の内に生コン舗装の舗装率を延ばせないのか。

(答弁) 建設課長

①現在、生コンも単価が上がってきている。現在は、災害復旧等で需要が多く、業者もすぐに対応ができないので、今年は例年通りの予算内で、お願いしたい。

(質疑) 甲斐弘昭議員

①本村の災害復旧対策は、関わる業者、社員が不足しており、対応が厳しい状況であると察するが、このような中、役場職員体制の増員、経験者を配置するなど、充実した強固な職員体制が望まれるが。

(答弁) 村長

①昨年、一名増員した。また他に一名、鹿児島の方から林道災害復旧事業で派遣を頂いている。まずは人材の確保をしていきたい。

（質疑）岩本議員

①世界森林認証祭りは、現在四か所で行われているが、以前は、村内で村民が一堂に集まって行っていた。都市と住民との交流を図る上でも、今後は、村のイベントと抱き合わせてできないものか。

②村内加工グループの機械導入支援の考えを伺いたい。

③飼料価格の高騰、子牛価格の下落により、和牛繁殖農家は経営が圧迫されている。さらに支援拡充の考えは。

（答弁）村長

①関係人口の視点も必要になってくる。来年度以降の実施方法については、検討させて頂きたい。

（答弁）企画課長

②グループの優先される機器等もあると思うので、今後具体的な協議を進めていきたい。

（答弁）産業課長

③現在も村として、飼料価格高騰対策として、支援をしている。国・県も子

牛平均価格を下回った場合の支援の動きがあるが、本村としても検討する必要がある。

（質疑）尾形議員

①本村は、四年前に気候非常事態宣言を出しているが、もう少し売りにしては良いのでは。対外的な発信も充実させて頂きたい。

（答弁）村長

①本村は、林業立村を村是として、山づくりに取り組んできている。その取り組みの一つとして、FSC森林認証を取得した、情報発信については、ホームページの更新頻度を高めるなど、取り組んでいきたい。



所管事務調査報告

産業建設常任委員会

七月三十一日に令和四年台風十四号による耕地災害復旧工事の進捗状況の現地調査を行った。あいにくの雨の中で現地に行けなかった箇所もあったが、当日は、十箇所調査を実施した。

○現在の復旧状況

災害箇所 34	復旧箇所 28
田 27	復旧箇所 21
畑 3	復旧箇所 3
道路 4	復旧箇所 4
	復旧率 100%
	復旧率 100%
	復旧率 100%

未復旧は、田の六箇所。早期の復旧を願う。激甚災害に該当しなかった災害が水路を含め、まだ数箇所あると思われる。これらの災害を見落とすことなく、次年度は耕作できるように期待して報告とする。



総務常任委員会

今回は、八月二日にコロナ感染症予防の観点から役場で説明を受けた。特別養護老人ホームについては、現在の職員数に対し、四二名までは利用可能との説明であった。入所希望機者が急増していることを考えると、課題解決に向けていち早い対応が望まれるところである。特別養護老人ホームと不随する施設の有効利用と職員の維持確保に

努め、住民福祉向上の一部を担う介護保険、福祉サービス提供事業の役目を果たして頂くことを望みたい。最後に施設長から『今の状態が良いので維持している』と話している。』との言葉を聞き、懸念していた職場環境の改善が図られていることを確信したところである。



議会活動報告

月	日	行 事 名	参加者	場 所
8	1	九州中央道期成会総会決起大会	全員	延岡市
	2	総務常任委員所管事務調査	総務常任委員	役 場
	18	臨時議会	全員	役 場
	21	入郷地域開発期成同盟会本庁要望活動	議長	宮崎市
	22	県森林・林業活性化議員連盟連絡会議総会・研修会	全員	宮崎市
	23	国道503号整備促進期成同盟会総会・決起大会	全員	中央公民館
	24	九州中央自動車道建設促進地方大会	全員	延岡市
	29	民生委員・児童委員との意見交換会	全員	中央公民館
9	12	第3回定例議会開会(～22日)	全員	役 場
	13	決算審査特別委員会	全員	〃
	14	〃	全員	〃
	15	〃	全員	〃
	21	決算審査特別委員会(まとめ)	全員	〃
	22	第3回定例議会開会(最終日)	全員	〃
	28	郡町村議会議員研修会	全員	日向市
10	4	長倉樹苗園視察	全員	宮崎市(田野町)
	5	県畜産共進会	全員	小林市
	11	広域連合議会運営委員会	総務常任委員長	日向市
	12	県町村議員大会	全員	川南町
	13	公民館長との意見交換会	全員	しいたけの館
	16	北部広域行政事務議会	総務・産建常任委員長	延岡市
	23	所管事務調査(要望活動)	全員	九州地方整備局
	24	所管事務調査(～25)	全員	岡山県西栗倉村
	26	監査委員ブロック別研修会	議選監査委員	椎葉村
	27	宮崎県人会世界大会	議長	宮崎市
	30	九州中央道建設促進沿線議会提言活動(～31)	議長	福岡県・東京都
	31	森林・林業・林業活性化九州大会(～11・1)	全員	熊本市



国道503号整備促進総決起大会



決算審査特別委員会



県町村議員大会



長倉樹苗園視察

随想

黒木 健

地球温暖化から地球沸騰化となり、世界中で大きな災害が起こっている。村内においても昨年の台風十四号と今年の台風六号が多く被害をもたらした。今もなお復旧作業に携わっている方々に感謝を申し上げます。

かつて私が電気会社に勤めていた頃、平成三年の十九号台風で、鉄塔が倒れ、島原半島へ復旧作業に行ったことがある。現場に到着し、その時の台風の脅威に唖然とした。六万六千ボルトの鉄塔が倒れ、話を聞くと十基も倒れているとのことだった。鉄塔は、十分間、平均風速四十メートルに耐えられるように設計されている。おそろく、電力会社も想定外の事だったと思う。次の現場もあり、私達は二日間程の作業だったと思う。

その日の作業を終え、帰り際に小さな子供が私達に向かって、頭を下げたのが今でも思い出される。一刻も早く現場から遠去りたかった私は、何とも言えない気持ちになった。今後、村内においても想定外の災害等が起こり得るかもしれない。ただ、住民の皆様には、想定外の良いことが訪れますように。：

議会を傍聴してみませんか。

次回の定例会は、十二月十二日(火)開催予定です。どなたでもお気軽に傍聴できます。お待ちしております。心よりお待ちしております。

《お問い合わせ》議会事務局 TEL 65-1130

※訂正とお詫び

前回8月号の議会構成表の中で、観光協会理事として、尾形浩一と掲載していましたが、正しくは中田政雄でした。訂正してお詫びします。

編集後記

秋は、スポーツの秋、ラグビーワールドカップ、世界陸上、アジア競技大会、パリオリンピック予選のバレー、バスケットボールなどあり、八月後半から十月は、皆さんもテレビに釘付けではなかったかと思いますが、最近、思うのですが、日本人選手の活躍が目覚ましく、一昔前に比べ、どの競技種目も底上げがされてきており、弱い種目が見当たらなくなってきたような気がします。選手の努力はもちろん、その競技連盟の役員が、選手発掘、強化に力を入れてきた賜物だと思えます。また、どの競技でも、スター性のある若い人達がたくさん出てきており、日本スポーツ界の将来は、しばらくは安泰ではないかと思われまします。残念ながら、久しぶりに予定をさせていただきました、村民スポーツ祭は、あいにくの天候により、中止となりました。今から、冬のスポーツシーズン到来です。皆さん、こそって選手を応援しましょう。

(編集委員)

(甲斐弘昭)

甲斐弘昭 甲斐秀樹
山本多喜弥 黒木 健